

社 協 は が き



NIPPON 社協郵便

年 賀 2026



清里町羽衣町35番地35
社会福祉法人
清里町社会福祉協議会

昨年中は大変お世話になりました。
本年もよろしくお願いいたします。

清里町にお住まいの皆様

斜里郡清里町全域



P.2～3
新年のご挨拶
P.4
ケアハウス通信
P.5
まんまるカフェ
P.6
ボランティアステップアップ
P.7
ご寄付ありがとうございます
年末年始のお知らせ
P.8 社協ほっと通信

主
内
容



R 0811組

令和8年 午

22 - 4840

編集・発行 社会福祉法人 清里町社会福祉協議会 清里町羽衣町 35 番地 35 TEL 22-4840 FAX 26-7583

この社協だよりは、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金の一部をあてて発行しています。



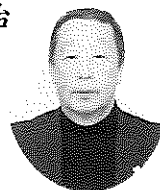
清里町社会福祉協議会ホームページのQRコードができました。ホームページでは、清里町社会福祉協議会からのお知らせや事業の概要を紹介しております。皆さんお気軽にアクセスして下さい。

新春のご挨拶



社会福祉法人
清里町社会福祉協議会

会長 横井 英治



謹んでご健勝で輝かしい新年をお迎えのこと
心よりお喜び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会の運営及び事業推進
に對しまして、多大なるご理解と温かいご支援を
賜り、役職員一同、衷心より感謝申し上げます。

清里町社会福祉協議会は、昭和二六年に設立さ
れ七五年の歴史を刻みました。

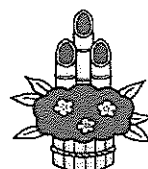
この間、基本理念であります「誰もが安心して
暮らすことができる福祉のまちづくり」のため、
清里町とともに進めてまいりました。

しかし、急速な少子高齢化、長寿社会における
福祉サービスのニーズは多様化しており、それに
対応するための人材の確保、組織の強化、財源な
ど多くの課題を抱えながら運営をしている現状
にあります。

自主財源であります会費、寄付金は世帯及び事
業所の減少により前年を維持することが難しい
状況であり、介護報酬は人件費、物価高に對應し
ていないため、収入は上がらず経費は年々増加し、
全国で介護事業からの撤退、倒産する事業所が増
えております。

厳しい環境にありますが、清里町福祉向上のた
め更なる努力をしてまいりますので、皆さまのご
協力とご支援をお願い申し上げます、新年のごあいさ
つとさせていただきます。

謹賀新年



社会福祉法人

清里町社会福祉協議会

顧問	塚田 昭
顧問	稲垣 友子
会長	横井 英治
副会長	垂石 悦子
副会長	梅村百合子
理事	春名真由美
理事	塩澤みちよ
理事	桑島 弥生
理事	池下 昇
理事	石川 教治
理事	石井 桃子
理事	前中 房枝
理事	福原 康之
監事	村上 孝一
監事	田島 祥子

社会福祉協議会事業のお知らせ

暮らしの法律相談を行います

住み慣れた地域で安心した暮らしを送ることができ
るよう、弁護士による個別法律相談を行います。暮らし
の中での困りごとや財産管理・金銭トラブル等の問題
を解決しませんか。

日 時：令和8年1月23日（金）

11:00～14:00

場 所：清里町保健センター 研修室
（清里町羽衣町35番地35）

相談員：荒永毅法律事務所

荒永 毅 弁護士

対象者：清里町在住の方

相談料：初回相談料は無料です。それ以降の相談が
必要の場合は別途相談料がかかります。

申 込：QRコードまたは電話にて、名前・住所・
相談の概要について添えて1月19日（月）
までに申し込み下さい。

清里町社会福祉協議会

電話0152-22-4840



QRコードでのお申込はこちら

Myじんけん宣言 Declaration of Human Rights

この度、清里町社会福祉協議会では、人権を尊
重した福祉のまちづくりを実践することを目指し
「My じんけん宣言」を表明しました。

「My じんけん宣言」とは、企業・団体及び個人
が、人権を尊重する行動をとることを宣言するこ
とによって、誰もが人権を尊重し合う社会の実現
を目指す取り組みです。

12月3日現在の宣言者数は、企業・団体
1,365と個人2,820となっております。

Myじんけん宣言

「Myじんけん宣言」をして、
誰もが人権を尊重し合う社会を、いっしょに実現していきましょう。

出愛・ふれ愛・語り愛

私たちは、人権を尊重した福祉のまちづくりを実践します。

社会福祉法人清里町社会福祉協議会

新年のご挨拶

清里町共同募金委員会

会長 島 山 英 樹



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素より、「赤い羽根共同募金」の活動、特に地域福祉への温かいご理解とご支援に対し、厚く御礼を申し上げます。昨年10月1日から展開いたしました「赤い羽根共同募金」運動、および「歳末たすけあい募金」運動では、厳しい社会経済状況の中にもかかわらず、多くの皆様から心温まるご協力を賜りました。

このご厚意が、「自分の町を良くするしくみ」として、地域の様々な福祉活動に役立っていることをご報告し、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス後の生活様式の変化、度重なる自然災害、あるいは孤立や貧困といった地域に潜在する課題は、より複雑化・深刻化しています。

こうした時代だからこそ、地域に暮らす一人ひとりの想いを集め、誰もが孤立することなく、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる」社会を築くという共同募金の使命は、ますます重要になっています。

共同募金運動は、「共助」の精神で成り立っています。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますとともに、地域の福祉がより一層充実・発展することを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

赤い羽根共同募金



10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金運動」を展開し、本年度も町民の皆様からたくさんのおたすけあい募金をお寄せいただきました。

募金をいただきました皆様、また、募金の周知やとりまとめを行っていただきました自治会の役員の皆様には、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様から寄せられた募金につきましては、地域福祉活動に大切に活用させていただきます。

今後とも赤い羽根共同募金運動の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

目 標 額 1,500,000 円

募 金 額 1,377,074 円

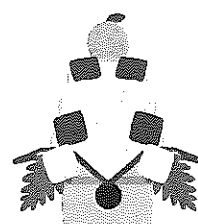
(令和7年12月12日現在)

【募金の内訳】

一般募金	: 496,628 円
特別募金	: 207,300 円
法人募金	: 396,000 円
職域募金	: 204,000 円
イベント募金	: 46,202 円
その他	: 26,944 円



謹んで新春のお慶びを申し上げます



清里町共同募金委員会

会長 島山 英樹
副会長 居城勝四郎
理事 二杉早知子
理事 石川みや子
理事 穴戸 清子
理事 吉田 幸典
理事 太田富士子
理事 石井 勝之
理事 石井 淳子
理事 菅原 みき
理事 桑島 弥生
理事 佐藤 浩昭
理事 島山 重実
監事 田中 博光
監事 小笠原利一郎

ケアハウス通信



「気晴らしの会」を開催しました

ケアハウスきよさとでは、入居者の身体機能や認知機能の低下を予防し、生活の活性化を図ることを目的とし、映画上映会や手芸活動などの行事を企画、実施しております。

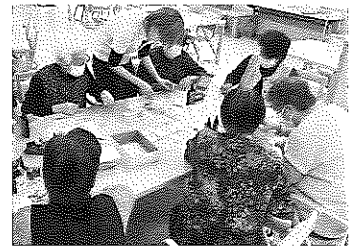
10月には、レジン液（樹脂）を使ったオリジナル作品制作に挑戦しました。

見本を参考に、色々な型の中から参加者それぞれが好きな形を選び、思い思いの色や飾りを組み合わせ、作品作りを楽しめました。

指先を使うとても集中力が必要な作業でしたが、参加された皆様はとても熱心に取り組まれ、個性溢れる作品を完成させることができました。

参加者からは「細かい作業だけど指の運動になった」「色の組み合わせを考えるのが良い頭の体操になった」「綺麗にできて嬉しい」「可愛らしい作品ができて良かった」といった声があり、完成した作品を手にとると自然と笑顔がこぼれ、達成感いっぱいひとときとなりました。

これからも、入居者の皆様が心や体をリフレッシュできるような様々な行事を企画し、実施していきたいと思います。



社協とも通信

清里町社会福祉協議会

TEL 0152-22-4840

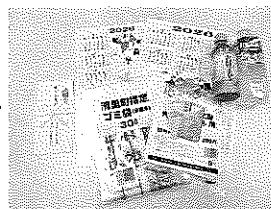
FAX 0152-26-7533

歳末たすけあい事業を実施しました

12月1日（月）から、「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンとして、地域の誰もが安心して、あたたかいお正月を迎えることができるよう歳末たすけあい募金を実施し、町民の皆様から多くのご協力をいただきました。

皆様からのご協力のもと、12月23日（火）には「一人暮らし高齢者生活用品配付事業」を実施し、清里町民生児童委員協議会・清里町共同募金委員会・清里町社会福祉協議会役員が、声掛け訪問を行い、指定ゴミ袋、きよポン商品券、ミニサロンボランティアの皆さんが作成しているカレンダー、小物入れ、北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社様から寄贈いただいた清涼飲料水を配布しました。

また、12月19日（金）には、自宅において病気やその他の原因により寝たきりで療養されている方や、心身に障がいをお持ちの方等に、「歳末たすけあい支援金」の贈呈を行いました。



在宅介護者の集いを開催しました

在宅で高齢者や障がい者の方を介護されている方を対象とし、日頃の介護上の悩みやお互いの介護経験を話し合うことで介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ることを目的とし開催しております。

本年度2回目は、12月4日（木）～5日（金）まで知床第一ホテルに宿泊し10名の方が参加されました。

夜はバイキング、温泉を楽しみながら参加者同士が交流され、皆さん楽しまれておりました。

介護者同士日頃の悩みや思いなどを話すことで、共感してもらったり、自分と同じ人がいると安心したりすることができ、気持ちが楽になります。年に2回開催しておりますのでご興味のある方はぜひご参加下さい。



まんまる カフェ

～まんまるカフェとは？～

町民同士が気軽に膝を付け合わせながら交流でき、日頃の困りごとを話し合える「移動式カフェ」として、清里町社会福祉協議会が行っている事業です。

各地域毎の「まんまるの輪」開催の様子をご紹介します♪

緑

緑地区では、ウエス切りや折鶴作り、また地域食堂ポッケさんと合同開催し、皆さんで食事を楽しみました。地域食堂ポッケでは、緑地区在住の写真家・今泉潤さんのご厚意で、大変貴重な写真を展示していただき、皆さん大変楽しまれました。



市街

市街地区でもウエス切りや折鶴作り、軽い運動、そして昨年好評だったおしるこ作りなどを通して交流を深めていました。



札弦

札弦地区は盆踊りを中心に交流しており、地域の交流の場として定着しております。でんぷん団子作りのベテランの方が作る、最高のでんぷん団子をみなさんで焼きながら一緒に食べ、お腹も心も満腹になりました。



まんまるカフェ開催日のお知らせ

●緑地区

場所：緑支所

令和8年 1月14日(水)
2月 4日(水)

●市街地区

場所：生涯学習総合センター

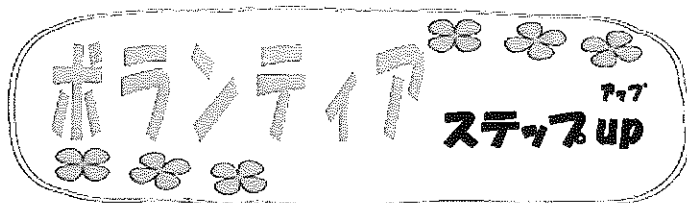
令和8年 1月21日(水)
2月18日(水)

●札弦地区

場所：札弦支所

令和8年 1月28日(水)
2月25日(水)

時間は10時00分からです！お気軽にご参加ください！



管内会長表彰を受賞しました

ボランティア2001ならびにボランティアミニサロンの皆さんが、令和7年度オホーツク管内市町村社会福祉協議会連絡協議会会長表彰を受賞されました。

この表彰は社会福祉奉仕者としての期間が10年以上におよび功績が顕著である方に贈られるものです。

・ボランティア2001…平成13年より23年間にわたりボランティア団体として活動されており、定期的に老健きよさとでのウエス切りの活動やパン作りなどを通して会員同士の交流をされています。

・ボランティアミニサロン…平成15年より22年間にわたりボランティア団体として活動されており、町内施設の入所者へ箸袋の贈呈や誕生日に手作りの絵はがきを贈呈しています。

受賞されたボランティア2001・ボランティアミニサロンの皆様おめでとうございます。

今後、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

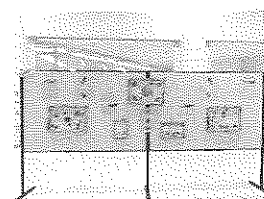
ウエスになる 布類・衣類はありませんか？

ご家庭で不要な布類・衣類を切ってウエスにし、町内施設へ寄贈していただいております。ここ数年、ウエスになる布類・衣類が不足しています。ご家庭で不要な布類・衣類がございましたら、介護老人保健施設きよさとの玄関に設置している、布類回収ボックスに出していただきますようご協力をお願いいたします。

町民文化祭に出展

ミニサロンで作成した作品を町民文化祭に出展しました。

今年は生活用品配付事業でもお配りしたカレンダーや、箸袋、はがきを展示し、皆さんの目を楽しませておりました。



地域を支えるまんまるの輪 Vol2 「清里町手をつなぐ親の会」

今回は「清里町手をつなぐ親の会」の皆さんをご紹介します。

「清里町手をつなぐ親の会」は、活動を通し、心身障がい者（児）とその家庭の福祉増進を図ることを目的とし、昭和49年12月22日に設立されました。

設立当時、障害を持つお子さんの親御さんに「会を作り会員同士の交流や情報交換の場が必要ではないか」と学校の先生からの働きかけもあり会を設立されたそうです。

当時は療育のためのバーベキューや旅行をして、色々な所へ出かけたり会員同士の交流を深めていたそうです。

設立から50年余りが経過し、会員も少なくなりましたが、平成30年にはにじいろの会の会員2名も加入し「にじいろの会」との交流も生まれています。

若い会員さんには昔の障がい児教育の大変さやこれから大きくなるにつれこのようなことをした方がよいよという助言を聞くことができます。また、若い会員さんからは現在の学校教育や福祉制度について話を聞くことができ、お互いに相乗効果が生まれています。

定期的な例会や視察研修、忘年会を通し会員同士の情報交換や、交流を行っています。今年は、美幌町・津別町先進地へ視察研修に行き「清里町でも何かできないか」と考える機会となったようです。

「清里町手をつなぐ親の会」では、随時会員を募集しております。ご興味のある方は、社協事務局（電話22-4840）までご連絡下さい。

地域で活躍する
団体や人をシリーズ
で紹介します。



ご寄付ありがとうございます。

皆様の心温まる善意は、地域福祉のために大切に活用させていただきます。

(令和7年9月20日～令和7年12月12日)

社会福祉協議会

介護老人保健施設きよさと ケアハウスきよさと

【 寄 付 金 】

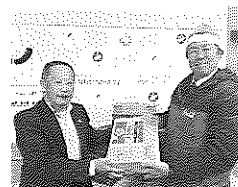
- ・吉 田 茂 生 様 (羽衣町第1)
- ・太 田 良 孝 様 (羽衣町第3)
- ・大 塚 直 様 (水元町第2)
- ・瀧 上 智重子 様 (水元町第2)
- ・佐々木 猛 様 (新町)
- ・嶋 中 信 雄 様 (新町)
- ・谷 澤 茂 様 (神威南)
- ・桑 名 信 吉 様 (神威南)
- ・塚 田 昭 様 (札弦町第1)
- ・沼 倉 リツ子 様 (斜里町)
- ・清里町農業協同組合 様

【 寄 贈 品 】

- ・山 下 康 子 様 (新町)
- ・美 馬 廣 子 様 (向陽北)
- ・自治会女性部連絡協議会 様
- ・清里町農業協同組合女性部アカシア部会 様
- ・水元町第1自治会女性部 様
- ・北海道コカ・コーラ

リテール&ベンディング

株式会社 様



年末年始の対応について

○社会福祉協議会事務局

12月27日(土)～1月4日(日) 休日
留守番電話にて対応します。

○訪問介護(ホームヘルパー)

12月27日(土)～1月4日(日) 休日
必要に応じ営業します。

○居宅介護支援事業所

12月27日(土)～1月4日(日) 休日
留守番電話にて対応します。

○老健デイケア

12月27日(土)～1月4日(日) 休日
必要に応じ営業します。

○老健きよさと

年中無休(休業はありません)

○ケアハウスきよさと

年中無休(休業はありません)

生活福祉資金を知っていますか？

「生活福祉資金貸付制度」は、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付です。

○総合支援資金…失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援(就労支援、家計指導等)と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯が対象です。

○福祉資金…低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、貸し付ける資金です。

○教育支援資金…高等学校、大学、高等専門学校の入學に際し必要な経費「教育支援費」(授業料、定期代等)と「就学支度費」(入学金等)の2つがあります。

○不動産担保型生活資金…今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金をお貸しするものです。

なお、貸付の決定にあたっては貸付条件に加え、償還可能性の有無が考慮されます。

内容については、お気軽にお問合せ下さい。

福祉のまちづくり映画上映会を開催しました。

令和7年11月14日（金）・15日（土）、福祉のまちづくり映画上映会として、藤野知明監督「どうすればよかったか？」を上映しました。清里町生涯学習総合センタープラネット'97で開催し、延べ160人の方が参加されました。

この映画は、ノーマライゼーション（※）普及事業として、赤い羽根共同募金配分金、社会福祉協議会会費、清里町からの補助金等をもとに毎年開催しております。

（※ノーマライゼーションとは、障がいがある方もない方も、大人も子どもも、誰もが同じ社会や地域の一員として、平等に生活できる社会を目指していこうという考え方です。）

今年度は「精神障がいを持つ家族のドキュメンタリー映画」でした。題名が問いかけであることから、来場者からは「考えさせられた」「正解はないのではないか」「本当にどうすればよかったのか」など、たくさんの感想が聞かれました。



令和7年度地域権利擁護普及事業を実施しました。

町民向け研修会



令和7年10月25日（土）、清里町保健センターにて、日本相続知財センター札幌 相談員 行政書士 加藤るり子氏を講師に迎え「専門用語を使わないお金・相続・遺言講座～元気なうちから備える相続対策と認知症対策～」と題したお話をいただき、29名の方が参加されました。

相続時にトラブルの原因となりやすいものを事例を交えながらわかりやすく教えていただき、なくては困る書類などの説明や、実際のエンディングノートを使いながらの記入のポイント、また遺言書を書くことの重要性を学びました。加藤先生は『いざとなってから書類を探したり揃えたり、今までのことを整理するのはとっても大変なこと。元気なうちに、いまのうちから備えておきましょう！』と話されていました。

関係者向け研修会



令和7年10月28日（火）清里町保健センターにて、社会福祉法人富良野市社会福祉協議会事務局長 明石吉史氏を講師に迎え「富良野市におけるあんしんサポート事業の取り組みについて」と題した研修を行い、44名の方が参加されました。

研修は「死後事務委任契約」を中心とした、実務や事例に基づいた内容でした。

質疑応答の時間も活発な質問が飛び交い、皆さん積極的に研修に参加している様子が見られました。

また、事業の実施を通し「社会を支える」社協のあるべき姿や行政等各関係機関との連携の重要性について学ぶことができました。

内容にご質問などございましたら、お気軽にご相談ください。☎ 22-4840